

2016 年度目録委員会記録 No.4

第4回委員会

日時:2016 年 7 月 9 日(土)14 時～17 時

場所:日本図書館協会

出席:渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、平田、村上、横山

<事務局>磯部

[配布資料]

1. キャリアに関する注記(7 ページ-A4、渡邊委員長)
2. 表現形に関する注記(2 ページ-A4、村上委員)
3. 刊行頻度、資料の識別の基盤、識別子に関する注記(5 ページ-A4、河野委員)
4. 出版表示等に関する注記(11 ページ-A4、横山委員)
5. 版表示に関する注記(3 ページ-A4、横山委員)
6. タイトルに関する注記(6 ページ-A4、野美山委員)
7. 逐次刊行物の順序表示に関する注記(3 ページ-A4、野美山委員)
8. 責任表示に関する注記(3 ページ-A4、木下委員)
9. シリーズ表示に関する注記(3 ページ-A4、木下委員)
10. 場所の条文案について(3 ページ-A4、田代委員)
11. 場所(NDL案)(15 ページ-A4、田代委員)
12. 2016 年度第3回目録委員会記録(案)(5 ページ-A4)
13. 2016 年度第2回目録委員会記録(4 ページ-A4)

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認
 - ・ 2016 年度第 3 回目録委員会記録(資料 12)について確認した。

[検討事項]

1. 注記について
 - 資料 1～9 をもとに、検討を行い、作業方針を確認した。
 - ・ 体現形に関する各注記エレメントの「記録の方法」の条文は「○○に関する注記は、# 2.41.0 に従って記録する」で統一する。
 - ・ エレメントという語は条文の中で極力使わないようにし、事項という言葉で表す。「以下の事項に関する注記は、○○に従って記録する。」とする。
 - ・ 各注記項目に「識別またはアクセスに」「識別または選択に」等ある部分は、RDAの対応す

る条項の記述を確認しそこに合わせる。

- ・ 参照の(〇〇を見よ。)は、文に付すときは改行し、箇条書きに付すときはすぐ後ろになげる。
- ・ 「変化が頻繁だったら一般的な説明を記録する」は、「〇〇の変化について、それが頻繁に生じているときは、変化のある旨を簡略に記録する」で統一する。
- ・ 和古書・漢籍は現在のNCRに現れる注記をどこに置くべきかの検証ができていない。和古書・漢籍は別立てにしてほしいという意見も書誌作成の現場から出ている。

2. 「場所」のNDL条文案について

資料10～11について、7月末までに意見集約を行うこととした。

次回以降の委員会の予定

9月10日(土)

10月1日(土)

11月5日(土)

以上